

(仮称)北彩都ガーデン実施設計方針

川を活かした「まちなかのオアシス」

旭川の街の中心に、市民や観光客そして生息する動植物すべてにとって居心地のよい、川沿いの環境を活かしたオアシスのようなガーデンをつくりだす。

旭川市民の日常生活の舞台として中心地に、くつろぎ空間をつくりだすことによって生活に潤いをもたらす、雄大な自然環境や北国旭川の気候で育った植物や農作物などに身近に触れ楽しむ事が出来るガーデンを目指す。

忠別川の大きな景観を活かし、植生や布団籠等の河川空間の要素をガーデンに持ち込む事で、川をいかし、川を楽しむガーデンとする。

街中に展開していくきっかけとなるガーデン

サロニックに市民があつまり集い、憩う空間をつくりだす。旭川及び近郊の主要産業の一つである旭川家具工房と協力しガーデンとファニチャーを一体的にショールームのように展示する事で、旭川市民や観光客が家庭でガーデンを展開されるきっかけとする。

この場だけでなく、ガーデンが街の中まで広がっていく事を促すようデザインや管理について工夫し、また市民活動を促し個人庭園や地域のコミュニティガーデンへの展開のきっかけの場とする。

旭川の特性をいかした冬の庭

旭川の冬の寒さや雪をいかした、雪原のアンジュレーションや樹林につく美しい霜など独自の冬の庭をつくり出す。

旭川ガーデン文化の創造

ガーデンにおける様々な市民活動、交流、プログラムそして、「ガーデンアイランド北海道」「北海道ガーデン街道」「北海道ガーデンショー」など外部との連携を行う事を通して、ガーデン講習会等を開催することやフラワーマスターをはじめ花や庭の愛好家を育成し、旭川独自のガーデン文化を創造していく。



各エリアの特徴

【旭川駅南エリア】:雄大な忠別川と共にゆったりくつろぐ人と川を繋げるガーデン
:駅南広場と一体化し、観光客などを迎え入れるガーデン

旭川の玄関であり、市街地の中心、生活の中心であるこのエリアは、旭川らしい雄大な河川景観を活かし、広々とした芝生や木陰でゆっくりとくつろぎ、自然環境に調和した草花を楽しむガーデン。
旭川駅に降り立つ観光客を迎え入れるガーデン。
草花は左岸に広がるガーデン空間と一体となって雄大なスケールで展開すると共に、身近では緻密なスケールの草花が感じられる2つのスケールを大切に植栽。

< 主な施設等 >

- ・眺望テラス 駅舎の東西コンコースから繋がる
- ・疎林テラス 木陰に木製デッキやベンチを設置
- ・大池から忠別川に流れるせせらぎ

【左岸広場エリア】:駅からの視対象として大きな景観をつくり出すガーデン
:大きな風景・景色の変化を楽しむガーデン

旭川駅からの視対象となる場であり、刈り込みの違いや草花のうねりにより大きな景観をつくり出すと共に、散策の際に大きな風景や景色の変化を楽しむ事ができるガーデン。
草花はすべて忠別川流域に自生する植物とし、河川環境に適応したものを活用。

< 主な施設等 >

- ・駅からの風景を作り出すガーデン 草花の刈り込みの工夫
- ・散策路

【宮前公園西エリア】:北彩都ガーデンのメインとなるエリア
:ガーデンに係る情報発信と市民交流の場となるガーデン

大池沿いのプロムナード及び南6条通りからの動線を受け止める場所に位置し、旭川駅から宮前公園までを一体と考えると中心的な場所にあり、旭川市民の新たなシンボルとなる様、ガーデンを通じた様々な交流や情報発信をしていくガーデン。
きれいな演出性の高い草花だけでなく、食に関連する植物を多く使う事で、多くの人に興味を持ってもらうガーデン。ハーブや野菜、果樹など加工活用が可能な植物を多く用い、活動拠点となるセンター施設を中心に様々な活動が展開され交流・発信が生まれる。

< 主な施設等 >

- ・アプローチガーデン 南6条通から宮前公園西エリアへ人々を迎え入れるボーダーガーデン
- ・メドウガーデン 忠別川や大池等の雄大な景観を背景とし、グラスを混ぜたナチュラルなガーデン
- ・アイランドボーダーガーデン 大きな芝生広場の小高い場所に広がる華やかなガーデン
- ・ハーブガーデン 色とりどりのハーブの鑑賞に加え、お茶やポプリなど様々な用途に活用することで交流を図る
- ・農のガーデン カラフルな野菜などを活用し、都市と農村の交流が生まれるガーデン
- ・ガーデンショールーム 旭川家具と一体となったガーデンなど、テーマ性のあるガーデンを幾つか展開
- ・ガーデンセンター ガーデンの情報提供、休憩スペース、苗等の販売、講習会等の会場、トイレ等の機能
- ・駐車場 54台(他に宮前公園東側に51台)
- ・飲食施設(予定) ガーデンを訪れる方の休息の場、カフェ、レストラン等を想定

【南6条通沿道エリア】:鉄道高架橋の景観に呼応し、人々を誘う緑と花と樹木のガーデン
:歩いて楽しめるガーデン空間

富良野線の高架橋脚がつくり出すリズムある縦の空間に呼応した高木及び中低木で彩る事で人々を誘う、緑と花の樹木ガーデン。
南6条通を車で通過する際、大きな緑と花の景観で楽しむ事ができ、歩道及びエリア内に一部園路を設け歩いても楽しめるガーデン空間とする。広葉樹と針葉樹でリズムある空間をつくりだし、カラーリーフや花、実の美しい中低木で彩りをつくり出す。

整備について

整備事業費 約7億円

整備スケジュール

- 平成22年度 整備基本方針策定
- 平成23年度 実施設計
- 平成24年度 本格着工
- 名称決定
- 平成26年度 完成予定



駅南エリア



<計画平面図>



<全体イメージパース>

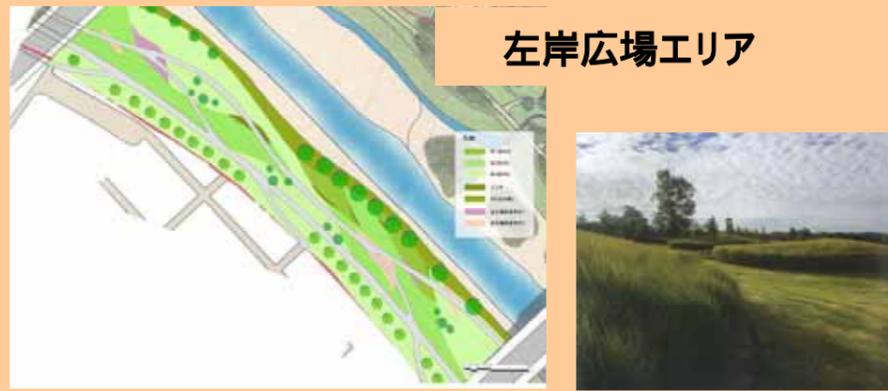


<東テラスからの風景>



<西テラスからの風景>

左岸広場エリア



(仮称)北彩都ガーデン全体図



南6条通沿道エリア



宮前公園西エリア



<計画平面図>



<全体イメージパース>



<農のガーデン>



<アプローチホーダーガーデン>